

<R04-No7 : 基準点測量 : 問題>

次の文は、公共測量において実施するトータルステーション（以下「TS」という。）を用いた基準点測量の精度管理について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 観測に使用する機器の点検は、観測着手前及び観測期間中に適宜行い、必要に応じて機器の調整を行う。
2. 距離測定的气象補正に使用する気温及び気圧の測定は、TS を整置した測点で、距離測定の開始直前又は終了直後に行う。
3. 観測点における角観測の良否を判定するため、倍角差、観測差、高度定数の較差を点検する。
4. 偏心点を設ける場合、偏心距離は測点間距離の 5 分の 1 以下を標準とする。
5. 厳密水平網平均計算及び厳密高低網平均計算による新点水平位置の標準偏差の許容範囲は 100 mm、新点標高の標準偏差の許容範囲は 200 mm を標準とする。